

1 石狩中学校 ESD の特徴

本校は、広い意味での「地域」を活動テーマとして、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して「持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う」ことを目標に学習活動に取り組んでいる。

また、留意点として、①現代的課題を「地球規模」・「地域」の両視点から捉える。②自己の生き方、あり方とより良い社会の構築を関連づけて考える。③持続可能な社会の構築に向けて自己のできることに加え、社会参加・参画の必要性を理解し、行動に移そうとする。以上の3点を共通のおさえとしている。

2 活動事例

総合的な学習の時間において「持続可能な地域社会」を全学年共通テーマとして学習しています。その教育活動の一環として、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して「持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う」ことに取り組んでいる。

【第1学年】 「地域の魅力」	【第2学年】 「地域の現状」	【第3学年】 「地域の未来」				
<ul style="list-style-type: none"> ・石狩海岸の環境学習 ・石狩の産業学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の現状 ・都市の循環型社会と省エネ環境の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題と未来 ・首都圏の省エネ、環境の取組 				
 3 すべての人に健康と福祉を	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任つかう責任	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう

他には、生徒会主催の取組として小中連携教育の一環として「いじめ撲滅集会」を開催している。中学校区3校（本校、石狩八幡小学校、生振小学校）の児童会生徒会が主体となり、いじめ（人権や差別）について対話を通して深く考えた。また、小中地域合同防災教室に加え、開発途上国の貧困対策や子どもの命を救うワクチン支援の為の「ペットボトルキャップ回収」も石狩八幡小学校と連携して実施したり、共生社会の担い手の育成の観点から「手話教室」を開催したりしている。

昨年度、「アンネのバラ」を鉢植えから校門前花壇に移植し、地域の方にも御覧いただけるように工夫している。

【生徒会中心の実践】	【手話講座】(全学年)
<ul style="list-style-type: none"> ◆アンネのバラの育成（人権・平和・共生・異文化理解） ◆ペットボトルキャップ・書き損じハガキ回収（貧困・医療） ◆いじめ撲滅集会（小中連携教育）    	<p>地域社会の一員として、障がいの有無に関わらずコミュニケーションを行うことや困っている時に手助けできる力を身に付けています。</p> 

3 成果と課題

いじめ撲滅集会と地域防災訓練に加え、開発途上国の貧困対策や子ども命を救うワクチン支援の為の「ペットボトルキャップ回収」を石狩八幡小学校と連携したボランティア活動として実施することで、「ユネスコスクール」としての活動を中学校区の小中連携教育として普及させることができている。成果として、地域一体としてのユネスコスクールの取組になりつつある。

また、既にユネスコスクールに登録されている生振小とも小中連携教育を進めているが、次年度以降、ユネスコスクールの取組についても、同様に連携が図られるとより効果的であると感じる。

4 活動全体計画

